

〔委〕:常滑市教育委員会 【知】:知教労

1 県の「教員の多忙化解消プラン」に基づく多忙化解消の具体化について

ア)県「部活動指導ガイドライン」に基づいた部活動指導の縮減

①常滑市独自の「部活動指導ガイドライン」

【知】部活動の量的制限が県「部活動指導ガイドライン」(以下「ガイドライン」)に明記されたが、常滑市はいつの段階で適用されるのか。

〔委〕今年度、各中学校で6・7月は(学校によってはもっと長い期間)朝部を行わないなど取り組んできている。各校長と話し合い、朝部を行わない期間をもう少し広げることも検討中である。

【知】県の「ガイドライン」をよく読むと、この通りにやっても月の超過勤務が月80時間を超えてしまうことが分かってきた。常滑市独自の「ガイドライン」を作成するときは、より厳しく設定しないと教員の多忙化解消につながらない。常滑市独自の「ガイドライン」作成はどのようなスケジュールになっているのか。

〔委〕部活をやりたいという顧問、地域の声等集めながら校長会と相談して今年度末までに作成する予定である。

【知】その話し合いの会に組合を参加させるのはどうか。作成の話し合いに法令の視点を入れたい。

〔委〕知識のある方たちで意見の集約をしているはず。組合の参加は必要ない。

【知】「ガイドライン」の中には例外規定がある。大会が続くと、土日ごと連続で部活もあり得る。年間の出場大会の制限を設けるべきだ。

〔委〕要望は伝えていきたい。

②小学校部活動

【知】小学校の部活動は指導要領等に根拠はないが、いくつかの学校で部活が行われている。市の「ガイドライン」では規定を入れるのか。

〔委〕市の小学校の大会は体協と校長代表との話し合いでやっている。今、いろいろ見直もされていると思われる。

【知】市内音楽会は来年度から行われなくなり、業務改善につながったと思われるが、市内陸上も廃止してはどうか。授業を抜けて一部の児童だけ参加する大会は教育的配慮に欠ける。

〔委〕小学校は大会で活躍する場が少ない。(前述の通り)体協と校長代表との話し合いでやっているため、いきなり廃止は難しい。

③部活動を校長がコントロールを

【知】校長は定期的に顧問会議を開き、「ガイドライン」に沿っているか確認する立場だが、前にも述べたように「ガイドライン」通りに部活を行うと超過勤務が月80時間を超えてしまう。校長が時間外労働をを認めることになってしまう。そうならないよう、部活の時間を縮小した(市の)「ガイドライン」作成をお願いしたい。

イ)業務改善に向けた学校マネジメントの推進

①在校時間管理・出来時刻把握義務の周知

【知】情報公開によって「出退勤記録簿」をチェックしたが、市内で鬼中以外の全校が記録の方法を間違えている。

〔委〕教育委員会で個人の記録までは集めていないので細かくは見えていない。通知文にあることを漏れないよう伝えたい。

【知】鬼中は(労働安全)衛生委員会で細かくチェックしている。労働管理は大変だが徹底して欲しい。ある小学校は4月の超過勤務80時間0人、100時間0人。これが本当なら素晴らしいが、はみ出さないように(操作)しているなら、公文書偽造になる。(福井県で免職の事例あり)

昨年言ったが未だにできていない。その他、土日が入ってない、校長が提出してない、出退勤時刻がコピペなど。指導をお願いしたい。

②勤務の「割振り簿」

【知】割振りがされていない学校もある。点検は?

〔委〕各学校で適正にやっていると感じていて今回は

やってなかった。(知教労の)情報公開で教えられた。

【知】校長がちゃんとやることを含め厳しい指導をお願いしたい。

〔委〕校長会で話をしていく。

③校内(労働安全)衛生委員会の定期開催・議事録作成

【知】鬼南小は職員が50名を超えているので衛生委員会が開かれていると思うが、運営はどうなっているのか。

〔委〕一つ一つは確認していない。

【知】委員会が機能していないといけない。議事録を情報公開で請求するすれば分かることであり市教委の責任でやるべきだ。

各学校では養護教諭が衛生推進委員になっていると思うが、過去にはいつの間にか任命されていたとか何をするのか分からないという声もあった。養教、校長、管理職、希望の職員で研修会を行うのはどうか。お金はかかるが効果はある。教員という仕事に特化した講師がお願いできるとよい。

〔委〕ぜひ考えていきたい。

④タイムカード・留守番電話などの導入

〔委〕出退勤時間の管理のシステムは前向きに検討している。留守番電話も、現場の声を聞きながら導入を検討している。ただし、ある学校では現在の機器が古く丸ごと変更しなくてはならない。

【知】東浦町が導入したのが、19:00～7:00。これは勤務時間外を含んでいるということで問題視している。

〔委〕(設定時間・対応方法等)議論のために、まだ時間が必要である。

⑤長期休業期間における学校閉庁

〔委〕いろいろな現場の声を聞きながら、導入するかどうかを検討している。

ウ)業務の縮小・負担の軽減

①朝部活の廃止

〔委〕(中学)4校の校長と話し合っていく。冬は午後部がほとんどできないので、朝部を無くしたら部活がで

きないことを懸念する声がある。夏場は6・7月だけ朝部活なしという学校は確実に減っている。(長い期間、朝部活がないという学校が増えている)

②業務の削減

【知】学校訪問を簡素化する。指導案はA4用紙1枚とか、何年かに1回にするとかはどうか。

〔委〕各学校の要項を見て、よいところを紹介して各学校に取り入れるよう計りたい。

【知】時間外に「自主研修会」が行われ、案内が回っている。学校施設を使っているから校長も認めていると思われるが、とりまとめ者、参加者等これが元で多忙化していないか。必要な研修なら時間内にやればよい。

〔委〕あくまでも「自主」的なものであるから制限は必要でない。出席率もよいと聞く。負担だと思わずに出なくてもよい。

若い人は指導に悩み困っている。そういう人のために研修の場を作るのはいいことだし、それもやりたい人がやればよい。

2 その他

①道徳の教科化

【知】道徳が教科化され評価を伴う。(愛国心が含まれるのは憲法違反だと組合は考えるが)運用の上で子供の内心を傷つけないよう、教育委員会としての指導をお願いしたい。

〔委〕評価は子供の成長を看取っていきたい。話し合いながら、評価のあり方を検討していく。

②パワハラ防止

【知】「パワハラ防止指針」を毎年配付し、パワハラがないように指導をお願いしたい。

〔委〕パワハラがあったら教えてほしい。

常滑市教育委員会:加藤宣和教育長、山崎巖生教育部長、中野直樹学校教育課長、佐藤茂樹指導主事

知教労:岩澤弘之、水野伸一、中沢晶子